

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~8日	11月 ~15日	11月 ~22日	11月 ~29日	12月 ~6日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	35	28	39	45 (46)	53
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	17	10	4	9 (10)	18
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	2	3	5	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	5	4	4	5	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	1	3	2	5	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第49週(11月30日~12月6日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

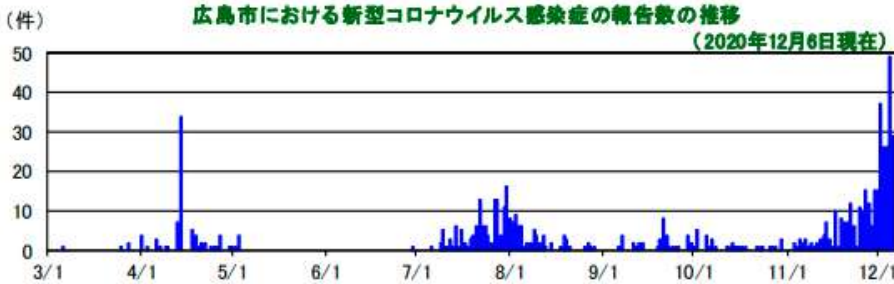
類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1	1	1	3	1		
三類	0	発生なし	0							
四類	2	つつが虫病	1					1		
		レジオネラ症	1							1
五類	8	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2	1				1		
		梅毒	6		1			4		1
指定	275	新型コロナウイルス感染症	275	9	19	12	2	203	12	18

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第49週に197件(前週の約3.2倍)の報告がありました。広島市では、11月以降、新型コロナウイルス感染症の報告数が増加しており(11月以降の累計報告数は338件)、12月に入って、クラスター発生の報告が続いています。一人一人が、健康管理に注意し、マスク着用、石けんによる手洗いやアルコールによる手指消毒の励行、「3密」の回避、身体的距離の確保、こまめな換気や保湿など、感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。また、発熱などの症状があるときは、かかりつけ医やコールセンター(積極ガードダイヤル)に連絡・相談しましょう。



コールセンター
 (積極ガードダイヤル)
 (ニー・ヨン・イチ・ヨン・ゴー・ロク・ロク)
082-241-4566
 【24時間対応】
 最寄りの医療機関をご案内します

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	増減	
														急増減	増減
小児科	インフルエンザ	-	-	4.39			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.43			急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.37			小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.74			増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	0.71	2.77			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03			微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	52	2.17	9.61			眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	0.65			横ばい	ほとんど増減なし
	水痘	5	0.21	0.46			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	26	1.08	0.32				無菌性髄膜炎	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.45				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.34				
	突発性発しん	8	0.33	0.24				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	19	0.79	0.16			基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	119	女性(80歳代)
4	つつが虫病	1	5	男性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	14	男性(60歳代)
5	梅毒	4	59	男性(30歳代)・2人、女性(40歳代)・1人、男性(60歳代)・1人